

今すぐ実践できる特典付き!



高校生に見せたい 大学生の授業

～教職課程の新しい演習～

日本語版・英語版パワーポイントが
全36ファイル!!

商品番号 E117-S



全2巻
セット特価 10,000円+税
各巻 6,000円+税
(送料別)

実技協力 国際教養大学 参考文献 つむぐ英単語 (内田浩樹著・河合出版) より抜粋

特典資料 ● QUICK FINDERヘッド(頭)の部品PDF(1P) ● ワードパーツ20種のPPT(日本語・英語版/計36ファイル)

E117-1 接頭辞で覚える英単語【#01～#10】 104min

E117-2 接頭辞で覚える英単語【#11～#20】 70min

▶ 中高生のプレゼン指導の素材に!

国際教養大学の取り組みとして『English Village』という活動があります。

English Villageとは? — 国際教養大学で行っている中高生対象の英語研修プログラム。
このプログラムでは、同大学の学部生や大学院生がすべての指導を担当しており、参加した中高生は自分に年齢の近い学生たちが自在に英語を使う姿をロールモデルとして捉え、刺激になっています。

大学生や大学院生が自ら考へるプレゼンテーション。そして、You-Tubeを使った発信型授業での新しい試みは、次世代へつながる英語教員養成や英語を好きになる高校生の育成など、新しい形の学びとなっています。今回のDVDではプレゼン型、しかも英語版、日本語版両方で学べる単語習得のための授業パターンを学生が行ったものを中心に収録しており、幅広く役立てられます!

このDVDは、次に挙げる「3つの見方」でご覧いただけます。

① 教職課程での 新しいトレーニング法のご提案

授業は日本語でも英語でも
同じようにできなくてははいけません!

今回のように発信することを前提として教職課程の課題を与えるということは、新しい教員養成のトレーニングの方法です!
今回収録に参加した学生は、最初に英語版の授業を作り、次に日本語版を考えるように指示したところ、日本語版を作る方が難しかったという意見が多く聞かれました。英語で最初から考えて授業をすることに慣れてくれば、逆にそれを日本語に戻す方が難しく、日本語であっても英語であっても授業をすることについては大きな違いはないという気づきがあると思います。この気づきは、これから英語教師を目指す若い学生に最初に感じてほしいことです。

まずは完コピすることからはじめてみよう!

教職課程での模擬授業では、①授業の流れを考え、②ハンドアウトを作成し、③実際に授業をするという3つの大きな作業が求められています。本DVDに収録されているパワーポイントを使って、DVDの授業を完コピする課題を与えると、教師にとっても大切な話の微妙な間の取り方を意識できます。この過程で、案外できるぞ!という自信になり、意外に難しいぞ!という発見にもつながるでしょう!!

② 発信型の高校生を 育成する (高校の先生方へ)

プレゼンではホンモノのオーディエンスがいる
場面を作ることが重要!

English Villageの新しい取り組みとして、短い動画を撮ってYou-Tubeに配信していく活動を行っています。自分のプレゼンが広く視聴されるかも知れないという意識が働くため、取り組みが格段に向上します。オーディエンスの存在を意識することで、より良いものを作ろうという意欲が高まり、語りかけようという姿勢が育ちます。

中学生には是非知って欲しい20の接頭辞を
学ぶことができます。

単語を新しく学んでいく上で、高校生には絶対に知ってもらいたいワードパーツが20個あります。生徒にプレゼンテーションのコツを指導するための素材としても、英単語によく見られる接頭辞を意識させるための教材としても活用していただけます。最初から英語で理解するのは困難だという場合は、日本語版を見せながら英語版を見せるという方法をおすすめします。

③ 自ら英語を使おう という姿勢を! (高校生の皆さんへ)

ぜひ「自分もこういうことを
やってみたい」という気持ちで
見てください。

英語が流ちょうに話せるようになるためには、留学など海外経験が必要だと思うかも知れません。本DVDに出演している学生スタッフで留学経験のある者はほとんどおらず、日本の中・高校で英語を学んできました。英語を使える環境を望むのではなく、自ら英語を使おうという姿勢を持てば、こんな風に英語が話せるのだということを感じてください。画面のスタッフの姿こそ、あなたの数年後の姿です!

▶ 教職課程で活かせる! 新しい形のトレーニング法!